

2006年度

Block 4 テュートリアル課題

課題番号 2

何となく元気がない



※断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることありますのでご注意ください

小児科学 舟塚 真

生後21日目の和雄くんは、ミルクをたくさん飲む元気な赤ちゃんです。お母さんのお産の経過も順調で、一緒に退院できました。夜6時のミルクは普通に飲めたのに、夜9時頃から急にぐずり始め、ミルクをあげたら全部もどしてしまいました。その後も繰り返し吐いてしまうので、救急病院を受診することになりました。

抽出を期待する事項

#周産期に障害がない

#生後21日の新生児の嘔吐の原因

病院では、小児科の先生が胸やお腹を診察した後、頭を触ってこう言いました。「何となく元気がないし、顔色も少し悪いですね。お話のできない赤ちゃんの『何となく元気がない』という症状は心配な所見です。念のため頭やその他の検査をする必要がありますので入院しましょう」。お母さんは、吐いているのになんでお腹ではなくて頭なんだろう、と思いましたが、確かにいつもより元気がなく、ぐったりしているので入院して検査をしてもらうことにしました。

#### 抽出を期待する事項

# 乳児における頭部の触診所見

# 乳児の「何となく元気がない」という病態

話せない、首が据わらない、座れない乳児が全身状態不良の場合、児が示すサインについて

# 中枢神経系に起因する嘔吐の鑑別の再確認

# 中枢神経系の検査

検査後、お母さんは小児科の先生から、結果の説明を受けました。そして更に「今後は脳外科の先生と協力、相談しながら赤ちゃんを診させていただきます。嘔吐やけいれん発作の有無、赤ちゃんのご機嫌がどうかの他、毎日頭の大きさをチェックさせていただきます」と、説明を受けました。なんで頭の大きさを測るのだろう、と思い質問すると、いくつかの可能性について図を書いて丁寧に説明してくれました。脳外科の先生に相談する内容も教えてくれました。

#### 抽出を期待する事項

- # 脳内、脳室内出血の症状とその合併症
- # 水頭症の原因と分類
- # 髄液の産生と循環について 生理と解剖
- # 水頭症の治療

和雄くんはその後元気になり、またたくさんミルクを飲むようになりました。頭の大きさも、どんどん大きくなることはありませんでした。しかし、お母さんは、和雄くんが今後も順調に育っていくのか、重い障害が残るとすればどんな合併症が今後起こってくるのか、心配でなりません。小児科の先生は、「この線に沿って大きくなれば大丈夫ですよ。」と、頭や体の大きさを記録する図を見せてくれました。また定期的な乳幼児検診を必ず受けることを勧められ、その際に、お母さんがチェックするポイントをいろいろ教えてくれました。

#### 抽出を期待する事項

- # 障害児の合併症について
- # 成長曲線（乳児の正常発育について）
- # 乳幼児検診と、その際のチェックポイント